

- 本書では、設置手順説明、ネットワークマイクの取り付け、各ケーブルの接続について記載されています。
- 本書をお読みいただく前に、「取扱説明書 基本編」を必ずお読みください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic Corporation 2014

PGQX1515WA Cs0614-3047 Printed in China

付属品をご確認ください

取扱説明書 基本編.....1冊 取扱説明書 設置編（本書）.....1式
保証書.....1式 CD-ROM *1.....1枚
コードラベル *2.....1枚

※1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。
※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。ネットワーク管理者が保管してください。

以下の部品は取付工事に使用します。

Ⓐ アタッチメント.....1個 ⓐ アダプター.....1個
Ⓑ 電源用端子台.....1個 (WV(DG)-SW458用)
Ⓒ アダプター.....1個 ⓑ 設置用型紙.....1枚
(WV(DG)-SF438用) Ⓒ ビット.....1個

●INITIAL SETボタンについて

本機を初期化する場合は、以下の手順で実施してください。

- ①本機の電源を切ります。PoEハブを使ってご使用の場合はEthernetケーブルを本機より引き抜いてください。外部電源をご使用の場合は、本機の電源ケーブルのコネクター接続を外してください。
- ②INITIAL SETボタンを押しながら本機の電源を入れて、そのままINITIAL SETボタンを5秒以上押し続けてください。約3分後に本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。

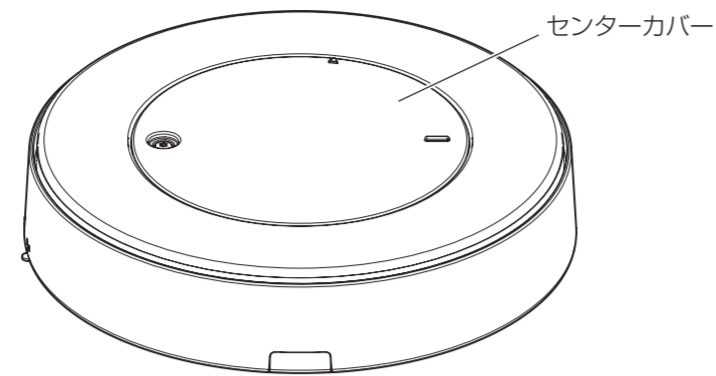
重要

- 本機を初期化すると、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。ただし、HTTPSで使用するCRT鍵（SSL暗号化キー）は初期化されません。
- 必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。
- 初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

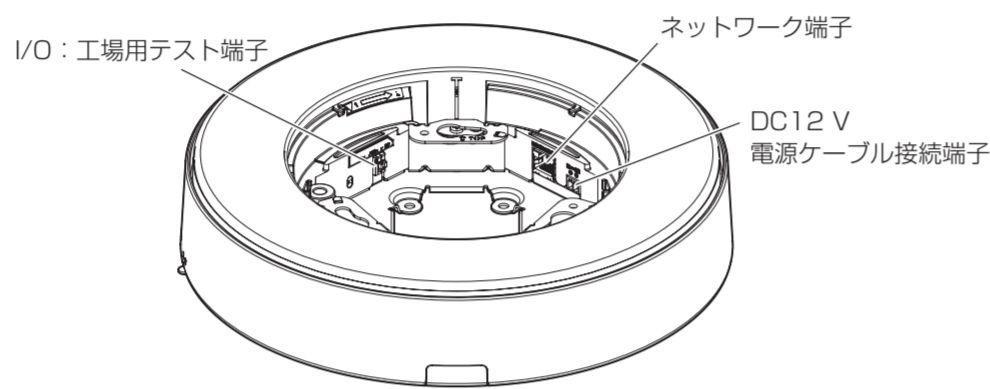
●各種ランプについて

アクセスランプ、リンクランプは消灯することができます（初期状態は点灯および点滅）。設置環境など必要に応じて消灯してください。（※取扱説明書 操作・設定編（CD-ROM内））

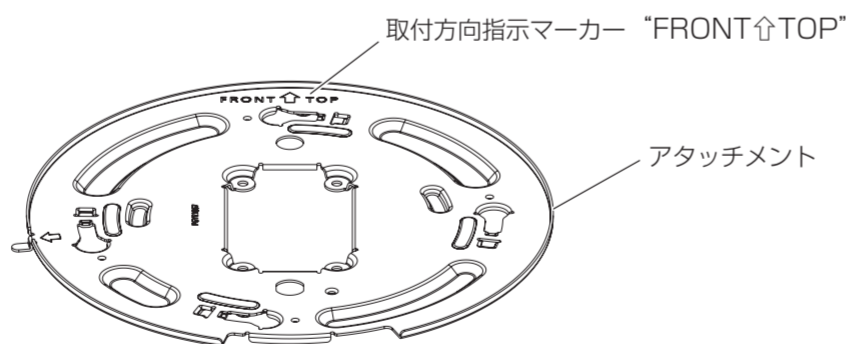
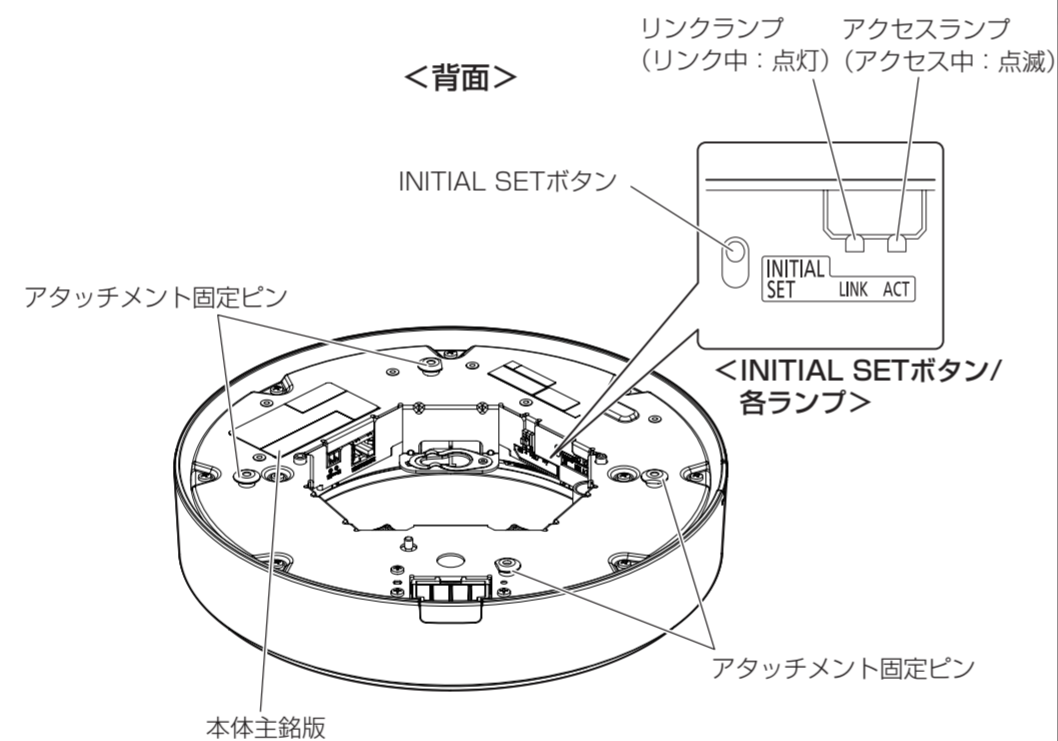
各部の名前



<センターカバー内部（センターカバーを外した状態）>



<背面>



設置する

設置工事を5ステップで説明します。

Step1 接続用ケーブルを確認し、事前準備する



Step2 金具類を天井または壁に設置する



Step3 金具にマイクを取り付け、マイクにケーブルを接続する



Step4 マイクにカメラを取り付け、カメラにケーブルを接続する



Step5 マイク音声をPCで聞けるように設定する

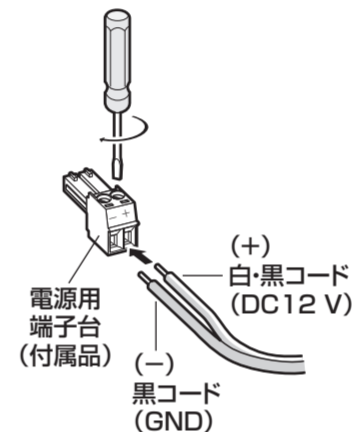
Step1 接続用ケーブルを確認し、事前準備する

接続する前に、本機や接続する機器の電源をOFFにしてください。接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。

電源ケーブルを接続する

DC12 V電源を使用する場合、電源用端子台（付属品）にACアダプター（WV-PS16(別売り)あるいは市販品）の出力ケーブルを接続します。

- ①電源用端子台のねじを緩め、外皮を3 mm～7 mm むき、より線を露出させるよう加工して芯線をよくよじって、電源用端子台へ挿入してください。（WV-PS16（別売り）をお使いのときは、ケーブル先半田付け部分を除去してください。）
- ②電源用端子台のねじを締めます。（推奨締付トルク：0.34 N・m {3.5 kgf・cm}）。



メモ

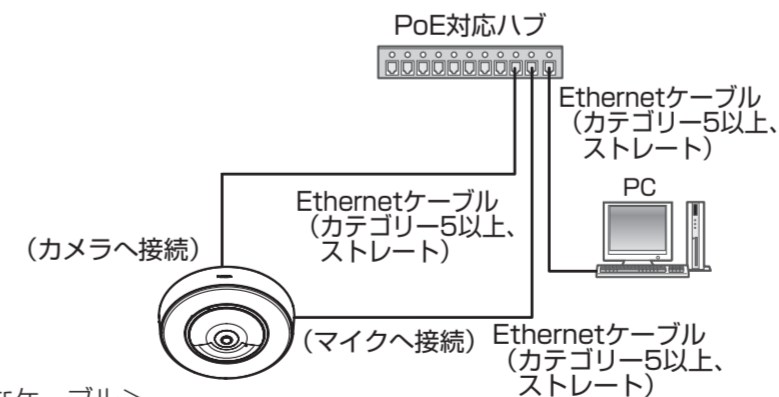
- 外皮を切断した芯線が電源用端子台から露出せず、確実に接続されていることを確認してください。
- 外部電源を接続する場合は 16 AWG～24 AWG単線もしくはより線をご使用ください。

重要

- DC12 V電源はAC100 Vに対して絶縁されたものを使用してください。
- 電源用端子台は、必ず付属品を使用してください。
- 電源用端子台は、DC12 V電源ケーブル接続端子の奥まで確実に差し込んでください。接続が不確実な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルに無理な力が加わらないように設置してください。
- 本機の電源および消費電力の定格（本体主銘版に表記）を満たすACアダプターを使用してください。

PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例

設置工事を始める前に、システム全体の構成を確認してください。下図は、PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例です。



<必要なケーブル>
Ethernetケーブル（カテゴリ5、ストレート）

重要

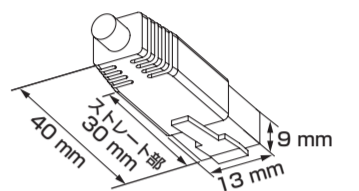
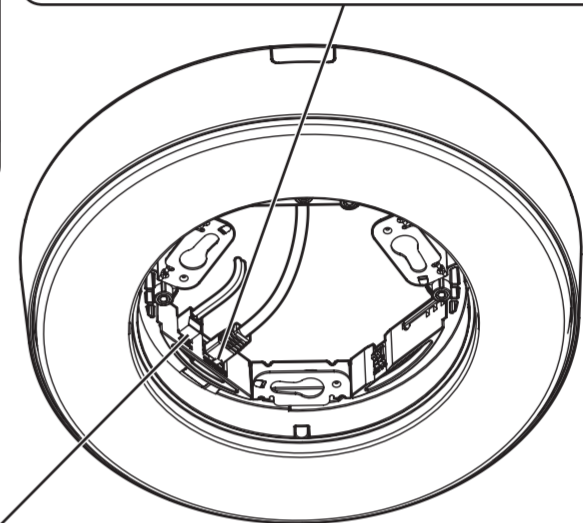
- ハブ、ルーターは10BASE-T / 100BASE-TX対応のスイッチングハブまたはルーターを使用してください。
- PoE対応ハブを使用しない場合は、ネットワークマイクにDC12 V電源が必要です。
- DC12 V電源を使用するときは、PoE対応のハブ、ルーターからの電源供給は不要となります。

Ethernetケーブル（カテゴリ5以上）を接続する

ネットワーク端子とEthernetケーブルを接続します。

重要

- Ethernetケーブルは4対（8ピンすべて）を使用してください。<推奨> パナソニック株式会社製 エコLANケーブル4対 CAT5E NR13533シリーズ（2014年8月現在）
- Ethernetケーブルの最大長は100 mまでです。
- PoE給電装置をご使用の場合は、必ずIEEE802.3af準拠品を使用してください。
- PoE給電装置とDC12 V電源両方を接続した場合は、PoE給電が優先されます。
 - ※ DC12 Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた場合、給電機器の種類によっては、給電が一度切断され、本機が再起動する場合があります。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE給電装置から電源が供給されない場合があります。



Ethernetケーブルコネクター例

メモ

- コネクター収納部が狭いため、Ethernetケーブルは右図のコネクターサイズ以下のものを使用してください。

Step2 金具類を天井または壁に設置する

本機を天井や壁面に取り付けるには次の4通りがあり、それぞれの工事に必要なものを前もって準備しておく必要があります。マイク設置時の取付条件は次のとおりです。

- ①天井、壁の強度が十分にあるとき
→ 【1】、【2】の取り付けが可能

重要

- アタッチメント（付属品）を天井または壁に取り付ける取付ねじ4本（M4、JIS規格品）は取付場所の材質に合わせてご用意ください。ただし、木ねじおよびくぎは使用しないでください。コンクリート壁の場合は、アンカーボルト（M4用）またはAYプラグボルト（M4用）で固定してください。（推奨締付トルク 1.6 N・m {16 kgf・cm}）
- アタッチメント（付属品）は指示に従い、向きに注意して取り付けてください。
- 取付場所のねじ引抜強度は、1本あたり196 N {20 kgf} 以上必要です。

- ②天井の強度が不十分なとき
→ 【3】の取り付けが可能

重要

- 石こうボードなど、強度が不十分な天井に取り付ける場合は、十分な補強を施すか、別売りの天井直付金具WV-Q105Aを使用してください。

- ③天井から吊り下げて設置したいとき
→ 【4】の取り付けが可能

重要

- 天井から吊り下げて取り付ける場合は別売りのWV-Q124を使用していたくか、十分な取付強度を確保した取付金具を使用してください。

- ④壁の強度が不十分なとき

重要

- 石こうボードなど、強度が不十分な壁には取り付けないでください。取り付ける必要がある場合は、十分な補強を施してください。

取付方法	推奨ねじまたはアンカーボルト	最低引抜強度（1本あたり）
【1】2コ用スイッチボックスを使って取り付ける	M4x4本	196 N{20 kgf}
【2】天井または壁面に直接取り付ける	M4x4本	196 N{20 kgf}
【3】天井直付金具WV-Q105A(別売り)を使って取り付ける*1	※2	※3
【4】吊り下げ金具WV-Q124(別売り)を使って取り付ける*1		※3

※1 WV-Q105A、WV-Q124を使って設置する手順は、それぞれ付属されている取扱説明書を参照してください。

※2 WV-Q105Aを使って設置するときの推奨ねじおよびアンカーボルトはそれぞれ付属されている取扱説明書を確認ください。

※3 取付金具とマイク本体およびカメラ本体を合わせた総重量の5倍以上の取付強度を確保してください。

Step2 金具類を天井または壁に設置する (続き)

[1] 2コ用スイッチボックスを使って取り付ける

天井または壁に設置された2コ用スイッチボックスに、取付ねじ(4×M4：別途調達)を使用してアタッチメント(付属品)を取り付けます。

メモ

- アタッチメント(付属品)の“FRONT⇓TOP”の方向がカメラ接続時に画面の上方向になります。
- 天井に設置する場合
画面の上方向にしたい向きを決め、アタッチメント(付属品)の“FRONT⇓TOP”を合わせてください。
- 壁に設置する場合
アタッチメント(付属品)の“FRONT⇓TOP”が上を向くように取り付けてください。

[2] アタッチメントを直接天井や壁に取り付ける

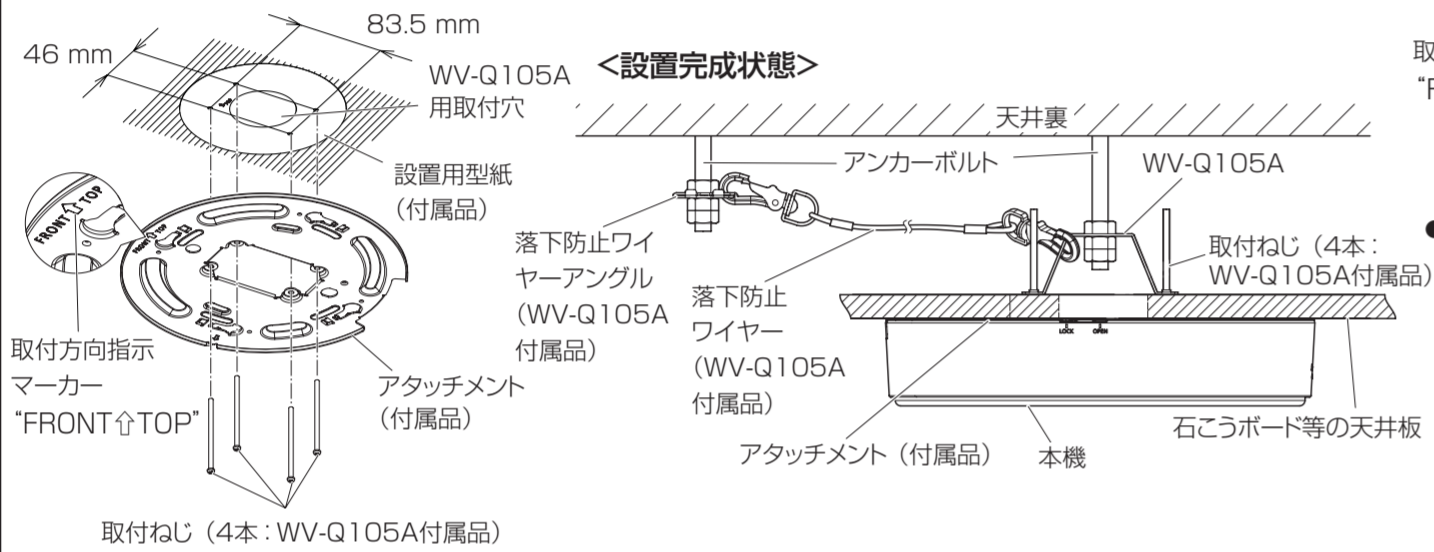
設置用型紙(付属品)を使用し、天井または壁にケーブルおよび取付ねじ用の穴を開けます。そのあと、取付ねじ(4×M4：別途調達)を使用して、アタッチメント(付属品)を取り付けます。

メモ

- アタッチメント(付属品)の“FRONT⇓TOP”の方向がカメラ接続時に画面の上方向になります。画面の上方向にしたい向きを決め、設置用型紙(付属品)の矢印とアタッチメント(付属品)の“FRONT⇓TOP”を合わせて設置してください。

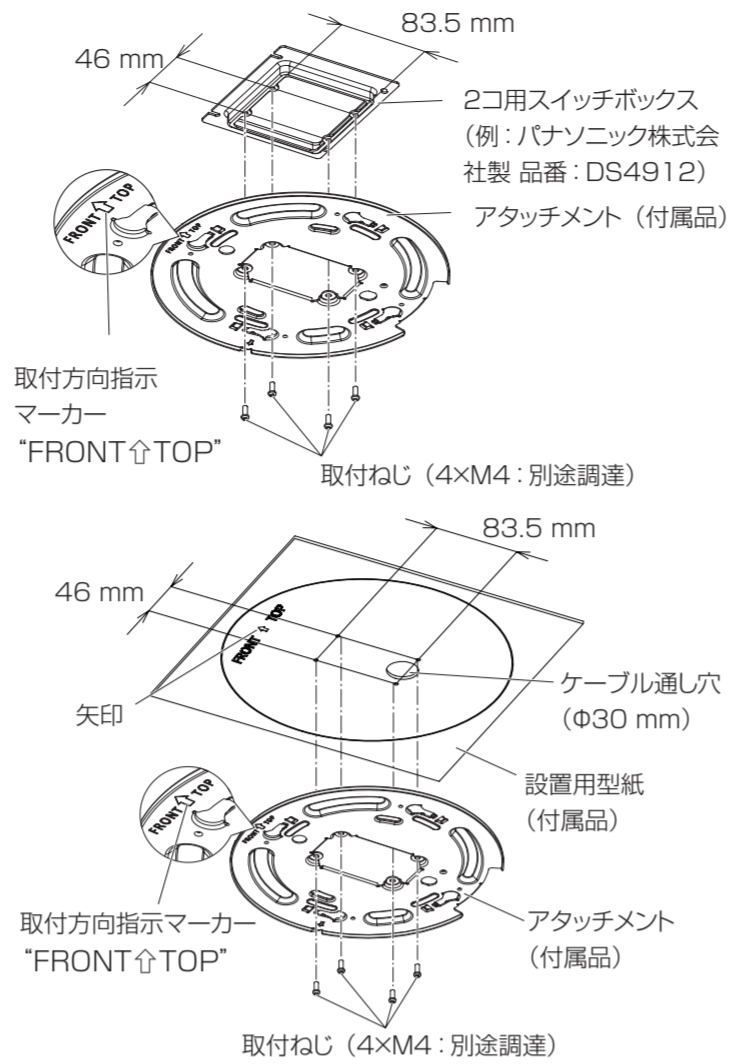
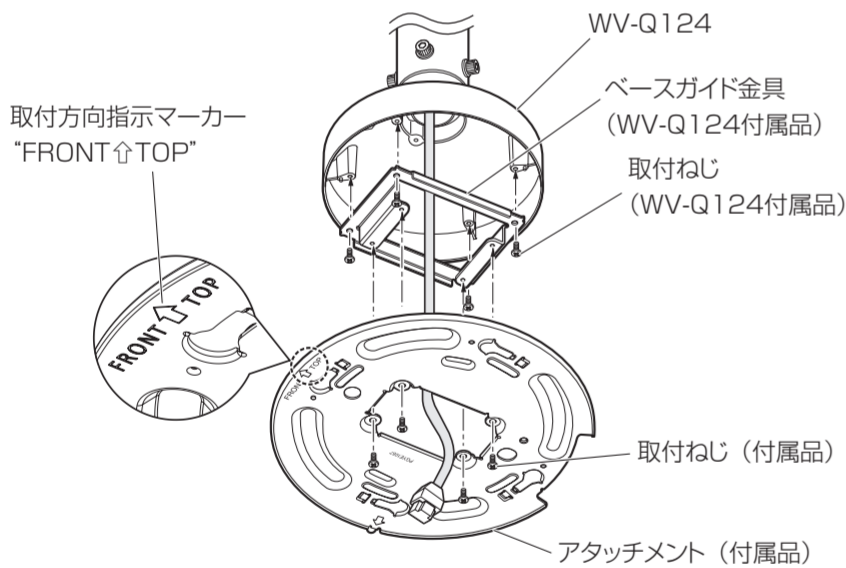
[3] 天井直付金具WV-Q105A (別売り) を使って取り付ける

設置用型紙(WV-Q105A付属品)を使用し、天井に穴を開けてWV-Q105Aを設置します。そのあと取付ねじ(4本：WV-Q105A付属品)を使用し、アタッチメント(付属品)を取り付けます。WV-Q105Aの設置方法はWV-Q105Aの取扱説明書をお読みください。設置完成後は下図のようになります。

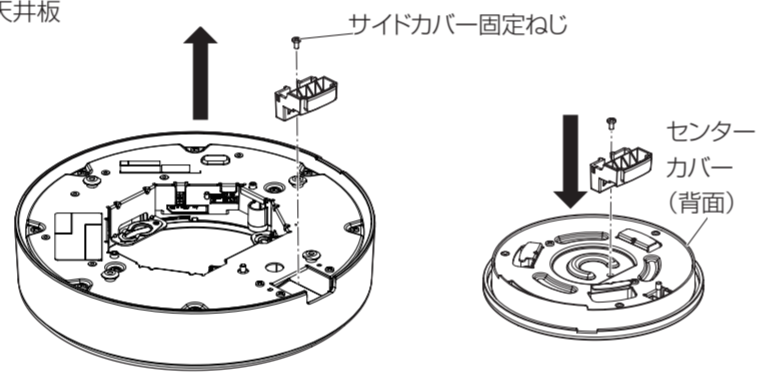


[4] 吊り下げ金具WV-Q124 (別売り) を使って取り付ける

WV-Q124の設置方法はWV-Q124の取扱説明書をお読みください。



●側面ケーブル通し穴を使用する場合
天井または壁面に直付けでケーブルを露出配線する場合は、サイドカバーを取り外して使用してください。サイドカバーと固定ねじはなくさないよう、センターカバー背面に取り付けて保管してください。



メモ

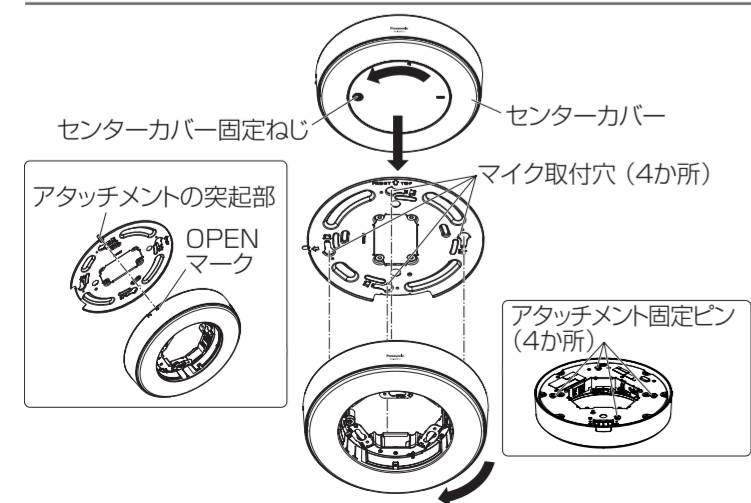
- 上記以外で取付金具を使用してカメラを取り付けたい場合は、別売りのWV-Q121A (カメラ天井吊り下げ金具)、またはWV-Q123 (パイプ取付金具) をお使いください。(WV-Q123を使用する場合は市販の取付金具が必要です。)
- WV-Q122A (カメラ壁取付金具) を使用してカメラを壁に取り付けることはできません。

Step3 金具にマイクを取り付け、マイクにケーブルを接続する

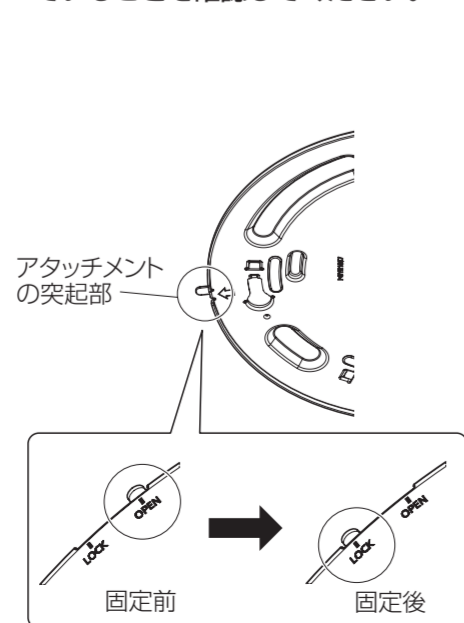
- ①センターカバーは固定ねじを外し、そのあと矢印の方向にセンターカバー自身を回して外します。
- ②アタッチメントの突起部にマイク側面の「OPEN」マークが合うように位置を合わせ、アタッチメントのマイク取付穴にマイク背面のアタッチメント固定ピン4か所をひっかけて矢印の方向にマイク本体を回転させ、突起部と「LOCK」マークを合わせて仮固定します。

メモ

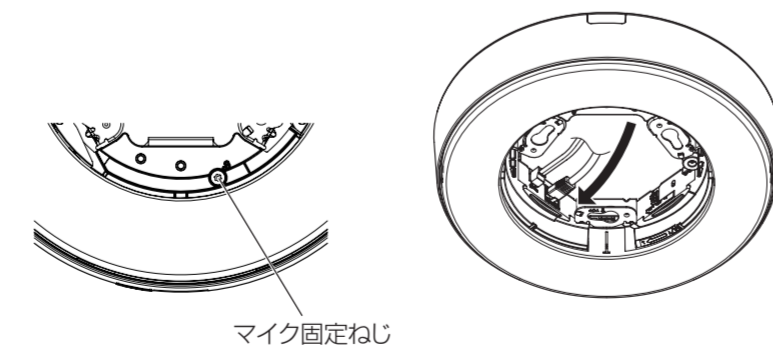
- ビット(付属品)を使ってセンターカバー固定ねじを外します。



- ③マイク仮固定後、アタッチメントの突起部が「OPEN」マークから「LOCK」マークの位置に変わっていることを確認してください。



- ④マイク固定ねじを締めて固定します。



メモ

- ビット(付属品)を使ってマイク固定ねじを締めます。

重要

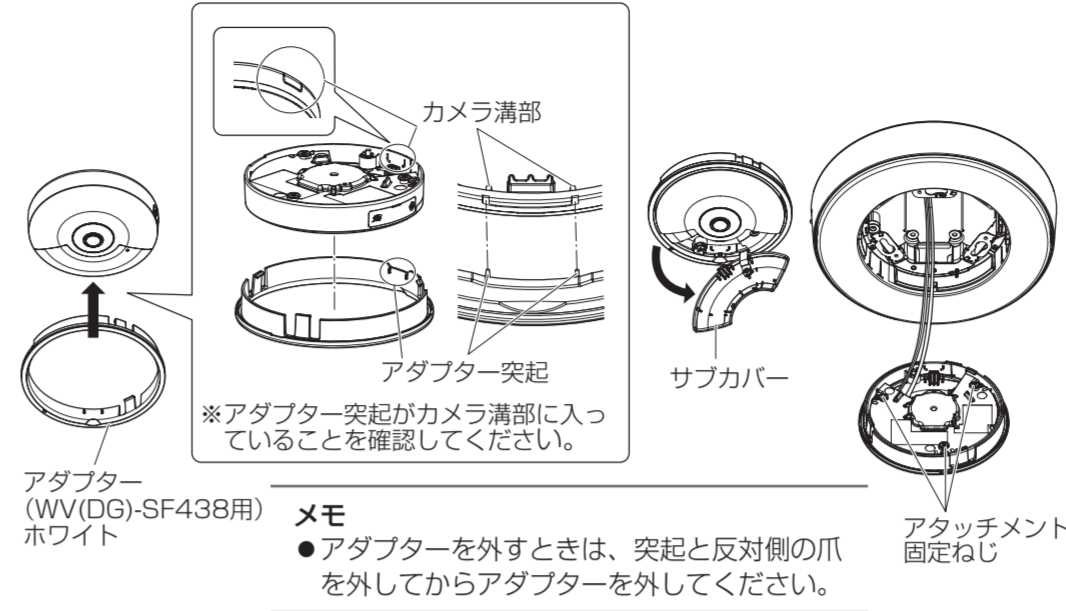
- マイク固定ねじは確実に締めてください。落下事故の原因になります。推奨締付トルク：0.78 N・m (8 kgf・cm)

Step4 マイクにカメラを取り付け、カメラにケーブルを接続する

※カメラへの各種ケーブルの接続は、カメラの取扱説明書も確認してください。

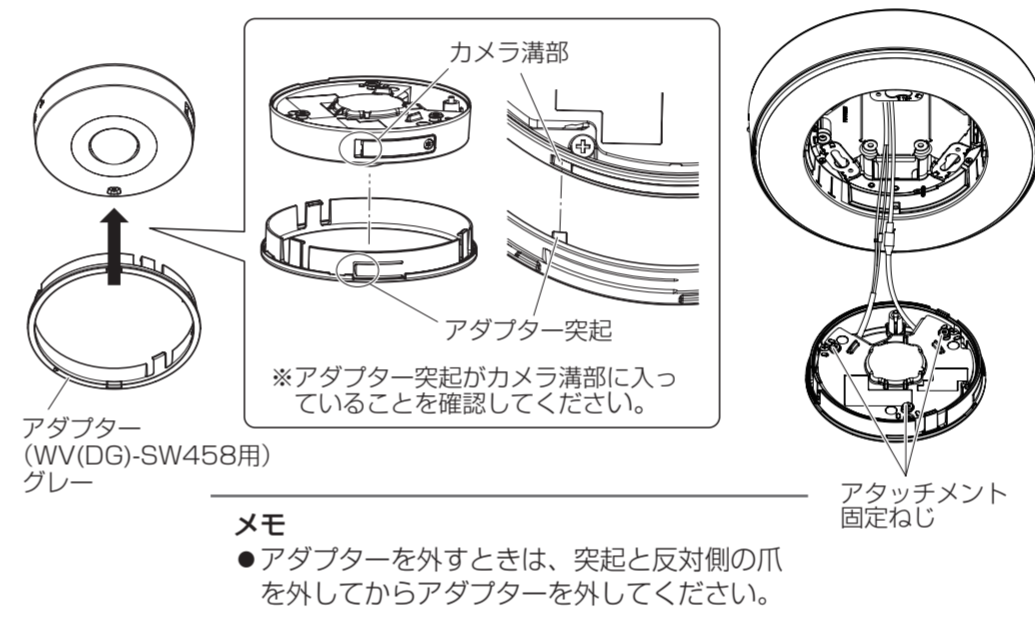
<WV(DG)-SF438を取り付ける場合>

- ①カメラ溝部にアダプター突起が合うように、アダプターを取り付けます。
- ②カメラのサブカバーを開け、各種ケーブルを接続します。



<WV(DG)-SW458を取り付ける場合>

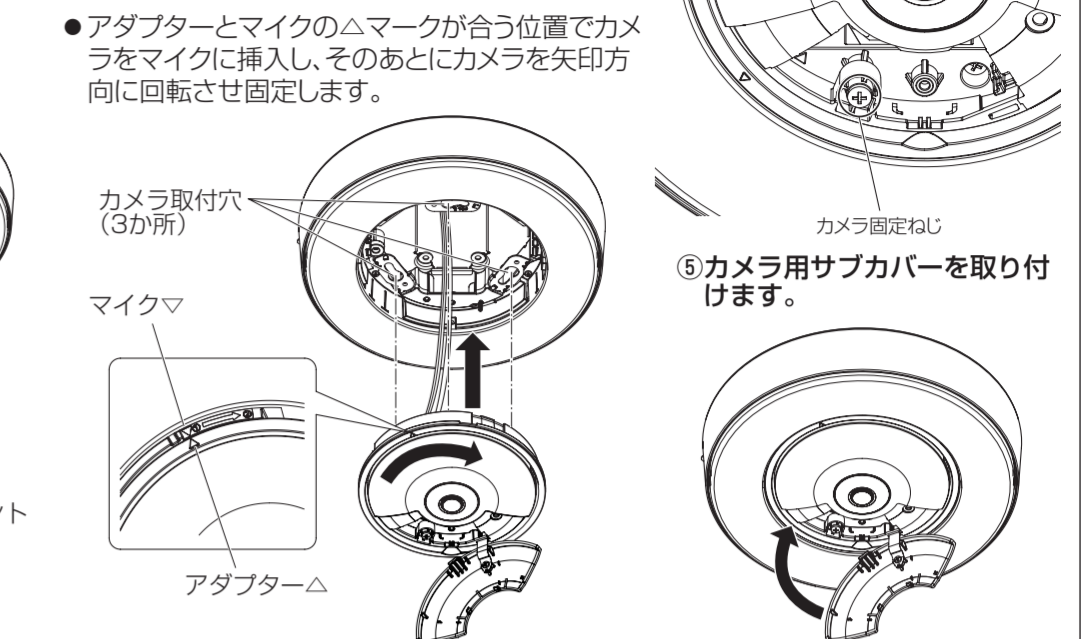
- ①カメラ溝部にアダプター突起が合うように、アダプターを取り付けます。
- ②カメラのケーブルに各種ケーブルを接続します。



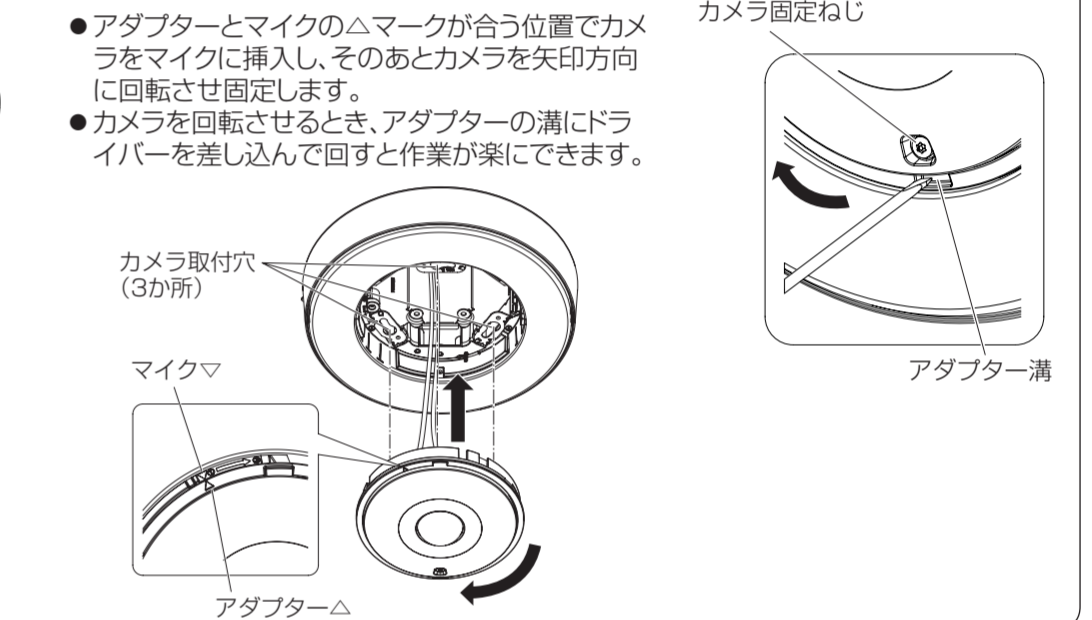
<WV-SFN480/WV-SFV481を取り付ける場合>

付属の「WV-SFN480/WV-SFV481の取り付け方法」(チラシ)を参照して、マイクにカメラを取り付けてください。

- ③ケーブルを収納しながらマイクのカメラ取付穴にカメラ裏側のアタッチメント固定ねじをひっかけ、矢印の方向にカメラを回して仮固定します。
- ④カメラ固定ねじを締めてカメラを固定します。



- ③ケーブルを収納しながらマイクのカメラ取付穴にカメラ裏側のアタッチメント固定ねじをひっかけ、矢印の方向にカメラを回して仮固定します。
- ④カメラ固定ねじを締めてカメラを固定します。

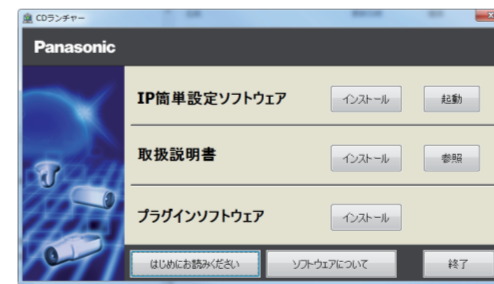


Step5 マイク音声をPCで聞けるように設定する

マイク音声をPCで聞けるように設定する

PCのファイアウォール設定が有効になっているときは、一時的に解除してからマイク設定を行ってください。ネットワークの設定を行うための情報は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- ①付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットします。
 - 使用許諾契約が表示されますので、使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約書の条項に同意します。」を選択し、「OK」をクリックします。
 - CDランチャーメニューが表示されます。CDランチャーメニューが表示されないときは、付属CD-ROM内の「CDLauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

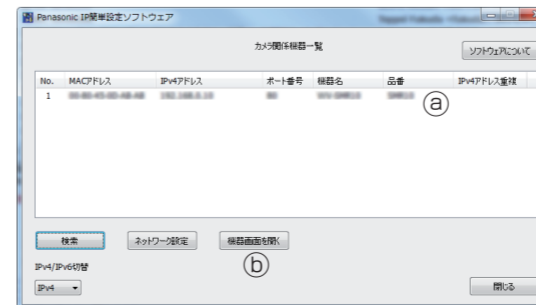


メモ

- CDランチャーの詳細については、付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編：「CD-ROMを使用する」を参照してください。

- ②IP簡単設定ソフトウェアの「起動」をクリックします。「Panasonic IP簡単設定ソフトウェア」画面が表示され、マイクが見つかったとマイクのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示します。

- ③設定するマイクをクリック (Ⓐ) して、「機器画面を開く」をクリック (Ⓑ) します。



メモ

- [Panasonic IP簡単設定ソフトウェア] 画面にマイクが表示された場合は、設定したいマイクに貼られているラベルに記載のMACアドレスと同じマイクをクリックしてください。

- ④プラグインソフトウェア「Network Microphone Plugin」のインストール画面が表示されたら、画面の指示に従って、インストールしてください。(マイクからプラグインソフトウェアがインストールされます。)

- マイクの設定画面が表示されます。
- プラグインソフトウェア「Network Microphone Plugin」をインストールできない場合や音声聞こえない場合は、CDランチャーメニューにあるプラグインソフトウェアの「インストール」ボタンをクリックして、インストールしてください。
- 使用する前に、「設定」の基本ページで「日付時刻」の設定を行ってください。

メモ

- マイクの設定画面が表示されないときは、以下を参照してください。⇒付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編：「故障かな!？」
- マイクへのアクセスを暗号化すること(HTTPS機能)により、通信の安全性を高めることができます。⇒付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編：「HTTPSでマイクにアクセスする」
- 設定メニューにアクセスすると、管理者のユーザー名とパスワードのユーザー認証画面が表示されます。下記の初期設定のユーザー名とパスワードを入力し、ログインしてください。ユーザー名：admin パスワード：12345
- ネットワーク設定の接続モード、IPアドレス、サブネットマスクなどを変更する場合には、手順③の画面で「Panasonic IP簡単設定ソフトウェア」の「ネットワーク設定」ボタンをクリックし、各項目を変更してください。
- IP簡単設定ソフトウェアは、セキュリティ強化のため、電源投入後、約20分以上経過すると対象マイクの「ネットワーク設定」を変更することができなくなります(IP簡単設定の有効期間の設定が「20分間」の場合)。ただし、初期状態のマイクは約20分経過後も変更することができます。